

## 温室効果ガス削減計画

### 1 事業の概要

#### (1) 事業所の名称

福山熱煉工業株式会社 福山テクノ工場

#### (2) 事業所の所在地

福山市箕島町6280-1

#### (3) 業種

金属熱処理業

### 2 計画の期間

本計画の期間は、平成27年度を基準年度とし、平成28年度から平成32年度までの5年間とする。

### 3 計画の基本的な方向

自然にやさしいものづくりで、豊かな地域環境を守る

1. 環境関連の法律・規制・業界及び顧客の要求事項は遵守するに止まらず、技術的・経済的に可能な範囲で一層の地域環境保全に取り組む。
2. 当社が行う事業活動が環境に与える影響の中で、特に以下の項目について優先的に活動し、地域環境保全に取り組む。
  - ①焼入設備における省エネルギー・省資源に努める
  - ②産業廃棄物の発生を抑制すると共に再資源化に努める
  - ③地球温暖化防止のため排気ガス量の削減に努める
  - ④オフィス活動における資源の節約及び有効リサイクルに努める
3. 当社の主業務である焼入れ・表面改質による製品の強度や寿命の向上が、顧客の環境パフォーマンスの向上に大きく寄与することを自覚し、顧客に対して常に最適な処理方法を提案し、最良の製品を提供することに努める。

#### 4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

##### 【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO <sub>2</sub> ）		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成27年度	
二酸化炭素	データ無し	17,234	17,234

#### 5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

原単位算定に用いた指標：

**加工賃(百万円)**

単位：排出量(t-CO<sub>2</sub>)，原単位量(kg等)，削減率(%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成27年度)			原単位 削減目標 削減率 (d)	目標年度 (平成32年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)		排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
	エネルギー起源CO <sub>2</sub>	17,234	1,949		8.84	4.9	18,000
総排出量	17,234	1,949	8.84	4.9	18,000	2,140	8.41
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	—	—	3.25	5.0	—	—	3.09
目標設定の考え方	年1%の削減を目指し、5年間で5%の削減を目標にする						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100      原単位(c) = (a) / (b)      原単位見込(g) = (e) / (f)

#### 6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

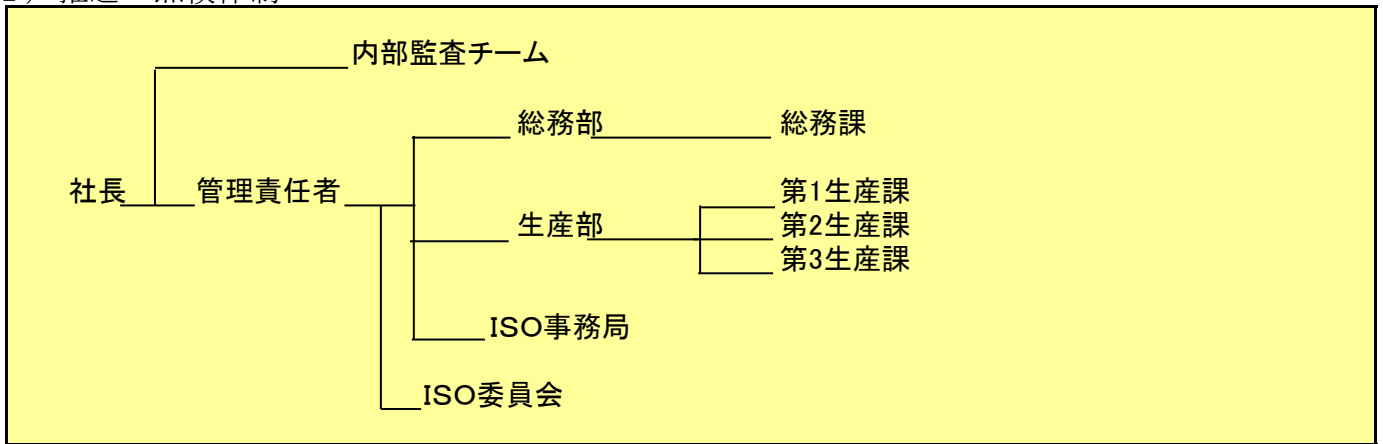
	項目	数値目標	具体的な取組み
1	電気使用量の削減	電気使用量を5%削減(原単位)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●工場全体での炉の稼働状況を把握し、無駄な設備の稼働を抑える</li> <li>●1ロットの挿入量上げる等できるだけ効率のよい生産を実施する</li> <li>●エアコンの温度設定・不要な照明を消す等の普段の省エネの推進</li> </ul>
2	ブタン使用量の削減	ブタン使用量を3%削減(原単位)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●工場全体での炉の稼働状況を把握し、無駄な設備の稼働を抑える</li> <li>●連続炉挿入量上げる等できるだけ効率のよい生産を実施する</li> </ul>

##### ○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	廃油の削減	原単位での削減率 年3%	廃油の油水分離を進め、油分の再利用を図る

## 7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

### (1) 推進・点検体制



### (2) 実施状況の点検・評価

環境マネジメント進捗状況報告書にて毎月数値を監視し、ISO委員会で報告する。3ヶ月毎に数値評価を実施し、目標達成が危ぶまれる際は是正・予防処置を実施する